

# ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2019の表彰にあたって

秋元孝之（芝浦工業大学・教授）

受賞者の皆様、まことにおめでとうございます！

表彰式会場で皆様と喜びを分かち合うつもりでしたが、新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、それが叶わないことになってしまいました。次回はまた一堂に会することができることを楽しみにしています。

省エネ性能の優れた住宅は、例えば年間のZEHの供給規模は6万件程度と増加傾向にありますが、「実績の有無」や「目標達成度」を分析すると、事業者間で「できる・できない」の二極化も進んできています。このハウス・オブ・ザ・イヤーへのご応募をして頂いている皆様には、是非、住宅業界全体をけん引して頂き、健康・快適、安全・安心な住まいを提供し続けて頂きたいと期待します。

今回の秋元賞は「株式会社 三和住建」でした。

省CO2の技術に加えて、自然災害にも対応するエネルギー自立型の住宅や、50年先を見据えたバリアフリーな家づくりを評価しました。SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標ゴールに向けたPDCAサイクルによる取り組み方法も明確であり、住まい手を重視したよりよい住宅の提案となっていることを高く評価したものです。